

JP 05-74312 U

Publication Date 10/12/1993

This design is the umbrella, which added the function of a seat chair.

The thing which prepared in the shank of a T character mold and for which it sits, the hips are stuck to a field and weight is applied to an umbrella It can do. That is, it can sit down. Balance is three of both guide pegs and an umbrella.

【Utility model registration claim】

【Claim 1】

(a) Use the shank of an umbrella as the T character mold with which the right-angled part is almost symmetrical to the shaft of body of umbrella(4) by deformation or immobilization.

(b) Even if it presses against a right-angled part at people's hips to the shaft of body of umbrella(4) of the shank of a T character mold, establish the seat side of the area of extent that is not painful.

(c) Prepare skid(5) to a floor line at the tip of a shank and the opposite side.

The chair combination umbrella constituted like the above.

Best Available Copy

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-74312

(43)公開日 平成5年(1993)10月12日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

A 45 B 5/00  
9/04

識別記号

序内整理番号  
2119-3B  
A 2119-3B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号

実開平4-27834

(22)出願日

平成4年(1992)3月16日

(71)出願人 592093246

朝倉 滉一

京都府江東区木場6丁目4番32号 藤倉電  
線第4寮301号室

(72)考案者 朝倉 滉一

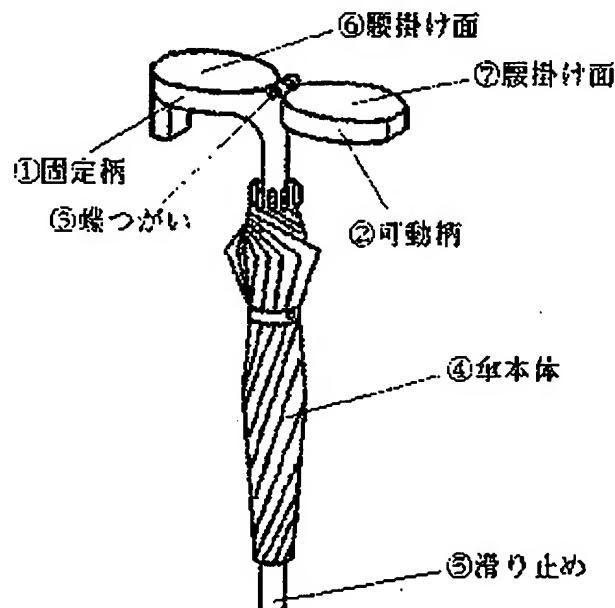
京都府江東区木場6丁目4番32号 藤倉電  
線第4寮301号室

(54)【考案の名称】 腰掛け椅子を兼ねた傘

(57)【要約】

【目的】傘に腰掛け椅子の機能を付加する。普通の傘として使うほかに、持ち運びに邪魔にならない携帯用椅子を提供する。

【構成】傘の柄をT字型にし、人の尻程度の面積の腰掛け面を設ける。柄と反対側に床面に対する滑り止めを設ける。



1

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 (イ) 変形または固定によって傘の柄を、傘本体①の端に対し直角な部分がほぼ対称的になっているT字型にする。  
 (ロ) T字型の柄の、傘本体①の端に対して直角な部分に、人の尻に押し当ても痛くない程度の面積の腰掛け面を設ける。

(ハ) 柄と反対側の先端に、床面に対する滑り止め⑤を設ける。

以上の如く構成された椅子兼用傘。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の第1の実施例で、柄をT字型に開いた時の斜視図

10 【図2】 本考案の第1の実施例で、柄を逆J字型に開いた時の斜視図

【図3】 本考案の第2の実施例で、柄をT字型に開いた時の斜視図

【図4】 本考案の第2の実施例で、柄を逆J字型に開いた時の斜視図

【図5】 本考案の第3の実施例で、T字型の固定柄を持つ傘の斜視図

【図6】 従来の逆J字型の柄を持つ傘の斜視図

10 【符号の説明】

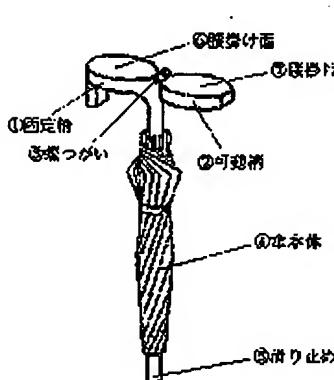
①固定柄 ②可動柄

③蝶つがい ④傘本体

⑤滑り止め ⑥腰掛け面

⑦腰掛け面

\*

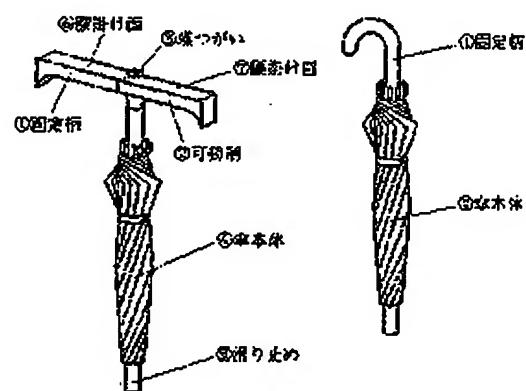


【図1】

【図2】

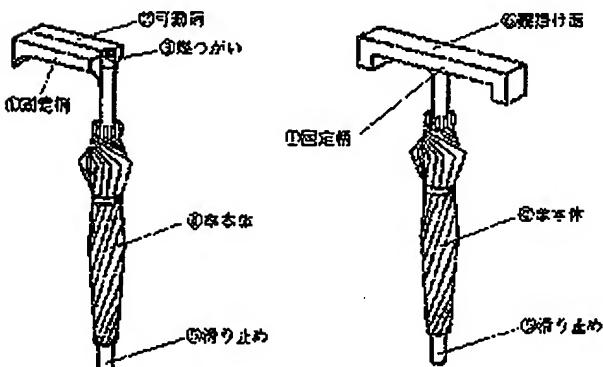
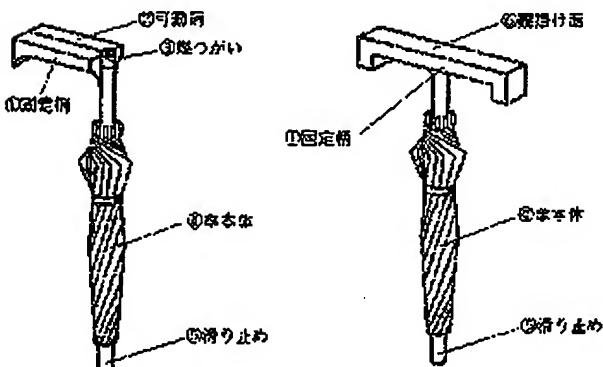
【図3】

【図6】



【図4】

【図5】



**【考案の詳細な説明】****【0001】 【産業上の利用分野】**

この考案は、腰掛け椅子の機能を付加した傘である。

**【0002】 【従来の技術】**

従来の傘の柄は、図6の逆J字型あるいは類似の逆L字型の様に、単純に手に持つ為あるいは何かに引っ掛けたぶら下げる為の構造をしていた。

傘と同様の柄を持つ物品にステッキがあり、逆J字型、逆L字型の他にもT字型があるが、やはり手に持つようにしかできない。

**【0003】 【考案が解決しようとする課題】**

電車の中で座席が満席の時や椅子が無い所での待ち合わせの時の様に座りたいのに座れない状況で、傘を持っている場合がよくある。

この様な時、立ち続けて疲れると畳んだ傘に体重をかけてステッキの代わりにして、足腰の負担を軽減したりする。しかし、従来の傘の柄は図6の様に手に持つ様にしかできないので、腕を通して体重を傘にかけることになる。

従って、足腰の負担を軽くすることができても腕や肩に負担がかかって疲れをあまり軽減することができないし、長時間にわたって体重をかけられない。

本考案は、これらの欠点を解決する為になされたものである。

**【0004】 【課題を解決するための手段】**

(イ) 傘の柄をT字型にする。言い換えると、傘本体④の軸に対して直角な部分がほぼ対称的に構成されている柄を設ける。

T字型の柄は、変形してT字型にする方式と、固定のT字型にする方式とがある。

(ロ) T字型の柄の、傘本体④の軸に対して直角な部分に、人の尻に押し当ても痛くない程度の面積の腰掛け面を設ける。

(ハ) 柄と反対側の先端に、床面に対する滑り止め⑥を設ける。

## 【0005】 【作 用】

T字型の柄に設けた腰掛け面に、尻を着けて傘に体重をかけることができる。つまり、座ることができる。バランスは両足と傘の3本である。

## 【0006】 【実施例】

以下、本考案の3つの実施例について説明する。

## (A) 第1及び第2の実施例

これらは、柄を変形してT字型にする方式であり、両者は柄の変形の仕方が異なるだけである。第1の実施例が図1、図2であり、蝶つがい③の軸が傘本体④に対して直角である。第2の実施例が図3、図4であり、蝶つがい③の軸が傘本体④に対して平行である。

両者とも以下の様に構成される。

- (イ) 固定柄①は傘本体④に固定し、可動柄②は蝶つがい③で固定柄①に取り付ける。つまり、図1や図3の様に柄をT字型に開くこともできるし、図2や図4の様に柄を逆L字型に閉じることもできる。
- (ロ) 固定柄①と可動柄②に、人の尻に押し当てても痛くない程度の面積（人の体型により異なる）の腰掛け面⑥、⑦を設ける。腰掛け面⑥、⑦にはクッション材を設けると良い。
- (ハ) 柄は開き過ぎないように、腰掛け面⑥、⑦が水平になるところで止まる構造にする。
- (ニ) 柄を閉じた時に蝶つがい③による可動柄②の回転を止められる機構を設けて、普通の傘として使用する時に支障をきたさないようにする。
- (ホ) 柄と反対側の先端にゴムなどでききた滑り止め⑤を設けて、床面との摩擦を大きくする。又、クッション材としての役目も持たせる。
- (ヘ) 腰掛け面⑥、⑦に体重をかけても破壊されないように、固定

持たせる。

以上の様に構成する。よって、柄をT字型に変形すると座ることができ、柄を逆L字型に変形すると図6の従来の普通の傘と同様に使用できる。

#### (B) 第3の実施例

これは図5の様に、柄を固定のT字型にする方式である。

(イ) T字型の固定柄①に、人の尻に押し当てても痛くない程度の面積（人の体型によって異なる）の腰掛け面⑥を設ける。

腰掛け面⑥にはクッション材を設けると良い。

(ロ) 固定柄①は傘本体④に固定する。

(ハ) 柄と反対側の先端にゴムなどできただけの滑り止め⑤を設けて、床面との摩擦を大きくする。又、クッション材としての役目も持たせる。

(二) 腰掛け面⑥に体重をかけても破壊されないように、固定柄①や傘本体④の間に十分な強度を持たせる。

以上の様に構成する。

#### 【0007】 【考案の効果】

傘の柄をT字型にして腰掛け面を設けることによって、傘に腰掛け椅子の機能を付加することができた。これによって、以下の効果が得られる。

携帯用の椅子となるので、どこででも座ることができ、足腰の負担を軽減することができる。基本的に傘なので、持ち運びがそれほど面倒にならない。特に雨の日には必ず傘を持ち歩くので、椅子を持ち歩いていられるという気にならない。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

**BLACK BORDERS**

**IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

**FADED TEXT OR DRAWING**

**BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

**SKEWED/SLANTED IMAGES**

**COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

**GRAY SCALE DOCUMENTS**

**LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

**REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

**OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**